



# 山科朝則 県政報告 Vol.14

とものり 山形の未来へ、アクション!  
発行日／平成30年春 発行／山科朝則事務所

山科朝則事務所 〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号 TEL.0233-25-8778 FAX.0233-25-8777

## ACTION! 2018春

ごあいさつ  
皆様には日頃より多くのご指導、ご意見を賜りありがとうございます。

29年度は、県立新庄病院の改築と機能強化に向け大きな前進がありました。

私は病院の機能強化が重要だと訴えて参りましたが、ドクターヘリのヘリポート設置や救命救急の充実など先に公表されていることに加え、特に、

- ・新たな診療科として歯科が盛り込まれたこと、
- ・夜間休日診療所の併設が決まったこと、
- ・患者用図書室整備が盛り込まれたこと、
- ・最上保健所と連携した相談窓口の整備、
- ・総合患者支援センター（仮称）の設置、

等は、当初の計画にはなかったものであり、地域の皆様とともに要望活動を続けてきたからこそ実現に結びついたものです。  
県より5年後の2023年に新病院をオープンする旨が公表されました。  
今後はより具体的な検討が進んでいきます。  
私は、より良い病院にするためにはこれから数十年に一度の病院建設です。このチャンスを逃さず、具体的な整備に対しても地域の皆様の声を届けて参ります。

山形県議会議員

山科 朝則



### 新庄病院 23年度開院 県調整 東京五輪後着工へ

築40年以上で全面移転改築される県立新庄病院（新庄市）の開院時期について、県が2023年度内を軸に調整していることが31日、分かった。県は新病院の骨格となる改築整備基本計画を本年度中に策定。1日に開く専門家会議で、計画案として開院時期を含めた具体的な整備日程を示すとみられる。

関係者によると、新病院の建設は20年の東京五輪・パラリンピックによる資材高騰や人手不足の影響を受けないよう、五輪開催後に着工する方向という。18年度以降は基本設計、実施設計という手順を踏み、20年度内の整備着手を目指す。23年度中の開院を目標に改築事業を進める方針。基本計画の前段となる基本計画の策定は、20年度末を目途に進めたいとしている。

（山形新聞・平成30年2月1日）

皆様のご意見をお寄せください。

山科とものりホームページ <http://www.yamashina.jp/> facebook 公開中

※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。

### 最上総合支庁 平成30年度当切予算の概要

総合支庁の施策展開に関する予算 30,600千円 人件費及び経常的経費 171,029千円 計 201,629千円

## 市町村連携・人口減少対策の推進

### 市町村連携による地域課題の解決

人口減少等の対応策となりうる地域課題の解決に向け、市町村と連携し重点的に施策を展開

#### 1. 農業ブランド大國「最上」のくづくり.....5,023千円

○地域の強みを活かした園芸作物等の生産拡大、最上伝承野菜等の活用、産地直売所と連携した情報発信

#### やまがた野菜産地強化プロジェクト事業費.....560千円

- ◇「もがみら」の産地強化プロジェクト事業
  - ・大規模栽培農家の育成、秋に生産拡大による産地化の強化
- ◇土地利用型野菜アスパラガス産地向上プロジェクト事業
  - ・展示実証圃設置等による地域に適した栽培技術の確立と普及

#### 6次産業化総合推進事業費.....515千円

- ◇もがみ6次産業化総合推進事業
  - ・産地直売所の取扱商品アイテムの充実、産直キャンペーンの開催

#### 食の至宝雪国やまがた伝統野菜推進事業費.....611千円

- ◇次世代に繋ぐ最上伝承野菜応援事業
  - ・「最上伝承野菜」の情報発信、次世代への継承や地域資源としてのブランド化の確立【一部新規】

#### 農産物等流通戦略推進事業費.....526千円

- ◇最上の食材発信強化事業
  - ・もがみ地域特産品フェア（仙台圏、村山地域）や実需者向け産地見学会の開催
- ◇地域園芸産地技術開発・支援事業費.....2,489千円
  - ・地域園芸技術支援事業・最上に適した園芸作物の開拓や課題に対する技術開発
- ◇市場ニーズの高い山菜オリジナル新品種開発事業
  - ・たらの芽等の市場ニーズに対応した新品種開発・・・等

#### 2. 人と技術が活きる「最上」の産業づくり.....17,818千円

- 産学官連携やビジネス交流による地域企業の収益力強化の支援、産業人材の育成定着
- 新庄まつり等の歴史文化や有数の豪雪国という地域の特色を活かした、滞在型観光やインバウンドの推進
- 木材関連産業の推進、特用林産物の利用拡大、木質バイオマスエネルギーの利活用、みどりの循環システムの構築

#### 地域中小企業連携促進事業費.....910千円

- ◇最上地域ものづくり産業強化事業
  - ・最上夜学等のビジネスマッチングの場の提供、女性社員のスキルアップ講座の開催等【一部新規】

#### 地域若者人材確保対策事業費.....2,000千円

- ◇魅力ある最上の仕事発信事業
  - ・小中学生向けの最上の産業がわかるリーフレットの作成、企業情報のWeb等での情報発信等【新規】

#### 最上の人材育成地域定着促進事業費.....757千円

- ◇地域産業を支える人材育成地域定着促進事業
  - ・小中学校教員対象の企業見学会等の開催、女性社員と女子高生とのトークセッションの開催

#### ◇創業による最上地域人材活性化事業

- ・若者・女性対象の創業に向けた講座の開催、起業家等の仕事・暮らしの普及【新規】

#### 観光振興推進事業費（最上）.....2,978千円

- ◇広域観光推進事業
  - ・「おもてなし山形観光条例」に基づく観光立県実現のため、最上地域の観光魅力向上をはじめとした地域一丸となった観光誘客、通過型から滞在型観光への転換と、持続可能な観光誘客の基盤づくり

#### 東北観光復興対策強化事業費.....7,000千円

- ◇新庄まつり等を核にした最上地域広域周遊ルートの磨き上げ・販売、滞在コンテンツ充実強化事業
  - ・海外旅行会社の招へいによる周遊ルート（H29作成）の磨き上げ、滞在コンテンツの充実等による市町村の受入態勢整備

### 各職業分野における人材育成確保、若者の地元定着回帰による人口減少対策

若年層の地元企業、農業、建設業への理解促進、医療・介護人材が輩出される環境づくり、若者の地元定着回帰に対する施策を展開

#### 最上バイオマス利用促進事業費（最上）.....2,814千円

- ◇もがみ薪プロジェクト推進事業
  - ・木質バイオマスの熱利用拡大に向けた検討会等開催、栽培施設等での実証試験・・・等

#### 3. 安全・安心を支え交流・連携を推進する「最上」の基盤づくり...878千円

- 高速道十字連携軸の形成、県管理道路の整備推進、「道の駅」の整備促進
- 最上小国川流域の治水対策の強化、風水害・土砂災害対策の推進、市町村と連携した避難対策や雪対策

#### 高速道路等の整備促進による最上の基盤づくり事業費.....538千円

- ◇高速道十字連携軸整備促進事業
  - ・整備促進に向けた機運の醸成を図る「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会の開催

#### ◇「道の駅」整備に向けた市町村への支援事業

- ・検討会の開催等による「道の駅」の整備促進に向けた市町村への支援の強化

#### 地域防災力向上事業費.....340千円

- ◇災害時の対応力強化
  - ・自主防災組織の設立を推進するため、具体的な手法を学ぶワークショップの開催・・・等

#### 4. 住民がいいきと暮らせる「最上」の地域づくり.....4,623千円

#### ○医療機関の連携体制の強化、医療・福祉を支える人材の育成・定着、健康寿命の延伸

- 結婚から子育てまで切れ目のない支援、多様な主体が連携・交流し活躍できる地域づくり

#### 最上の人材育成地域定着促進事業費.....546千円

- ◇医療人材確保対策事業
  - ・小中高生に対し動機付け講習会等の開催、「めざせ医療の仕事」フォローアップ
  - ・「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」を中心とした看護師確保・育成・定着

#### ◇介護人材確保対策事業

- ・「もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会」の運営による介護職員の確保・定着
- ・多様な働き手の確保、小中高校へ講師派遣による意識の醸成【新規】

#### 健康で安心な最上の暮らしづくり事業費.....415千円

- ◇すこやかもがみ健康づくりネットワーク事業
  - ・がん予防対策の啓発活動、生活習慣病予防対策の強化【一部新規】

#### ◇多様な主体が支えあう最上の環境づくり推進事業費.....975千円

- ◇最上地域発達障がい児等相談支援事業
  - ・発達障がい児の早期対応、支援のための医師等による保育所等への巡回相談の実施

#### ◇輝くモガティブウーマン発掘・発信事業

- ・高校生等向けの女性人材紹介や、一般女性向けワークショップによる社会参画への気運醸成【一部新規】

#### ◇連携・協働による最上の地域づくり支援事業費.....1,187千円

- ・県内で活躍する女性との交流や情報交換の実施
- ・地域づくりや伝統行事の担い手確保育成団体に対する活動支援【一部新規】
- ・地域づくりを支える人材育成のため、情報交換会、研修会、講師派遣などの支援
- ・地域づくりコーディネーター養成のための研修会開催

#### 最上小国川清流未来振興事業費（最上）.....1,500千円

- ◇最上小国川清流未来振興事業
  - ・最上小国川流域の新たな魅力や価値の創造を推進するため、「最上小国川清流未来振興機構」の構成団体が実施する活動や事業に関する調整及び情報の発信・・・等



平成23年4月の初当選以来訴えて参りました「県立新庄病院の建て替えと機能強化」について大きな前進と具体的な展望が見えてきました。

また、東北中央自動車道「金山道路」は30年度政府予算に盛り込まれ、秋田県、山形県、福島県をつなぐ大動脈の完成も着実に進んでおります。東根まで無料区間となれば今後新庄を通る交通量の増加も期待されます。

4年制大学、高度な研究機関を設置し質の高い教育環境を整備する事については、継続して取り組み実現

させて参ります。

人口減少社会だからと諦めず、今を生きる私たちの責任として、次の世代さらに次の世代につながる課題解決に最善を尽くします。目の前の課題に取り組むとともに、先を見た大きな視点で皆様からお預かりした職を務めてまいります。皆さまのご意見をお待ちしております。

山形県議会議員

山科 朝則

※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。